



# 輝け 城東っ子



R8. 1. 8

校長 高橋 正和



## 2026年もどうぞよろしくお願いいたします

保護者の皆様、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。本年も児童や保護者の皆様、地域の皆様、そして教職員が健康で幸福な1年を過ごせることを願います。さて、令和8年がスタートし、冷やかだった校舎が、子供たちの笑顔・ほほえみによって、一気にぬくもりのある温かな居場所になりました。

## 人権週間 「『誰か』のことじゃない」(2025テーマ)



昭和23年(1948年)12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。

世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、人権保障の目標や基準を初めて国際的にうたった画期的なものです。採択日である12月10日は、「人権デー(Human Rights Day)」と定められています。法務省の人権擁護機関では、人権デーを最終日とする1週間(12月4日から12月10日)を「人権週間」と定め、全国的に人権啓発活動を強化しています。

私達一人一人が様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが不可欠です。

(法務省抜粋)

本校でも、12月1日(月)～5日(金)を校内人権週間と設定し、生命を大切にし、自他の人格を尊重し、お互いの個性を認め合う心、他人の痛みが分かる心、他人の気持ちが理解でき、行動できるなどの他人を思いやる心、正義感や公正さを重んじる心などの豊かな人間性を育成するため、各教科や道徳、学級活動、総合的な学習の時間等で、人権について考える授業を行いました。

また、放送委員会児童による人権に関する冊子の読み聞かせや人権に関する図書の紹介などを通して、人権について考える機会を設定(いじめ・高齢者・障がい者・インターネット・・・など)しました。この人権週間だけでなく、日々の学校生活全般において、次のような【知性】・【判断力】・【感受性】・【技能】・【実践力】の五つの能力・態度の育成を目指しています。

＜人権教育で育てたい能力・態度＞

○人権の大切さや人権に関わる様々な問題を正しく認識できる知性【知性】

○偏見や差別の不当性を科学的に見極めるとともに、物事を公正・公平に判断できる力

【判断力】

○共に生きる喜びや、差別・不正に対する悲しみや怒りを共感的に受容したり、考えたりすることができる感受性【感受性】

○互いの人権を尊重し合う人間関係を築くための社会的な技能【技能】

○人権に関わる様々な問題を主体的に解決し、人権尊重の社会を築いていこうとする実践力【実践力】

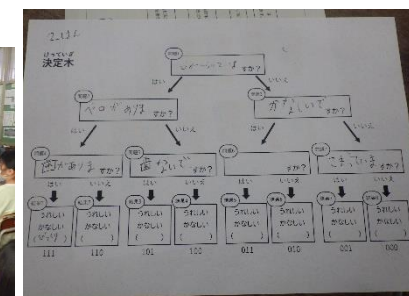
## 全市一斉土曜授業

12月6日（土）は、全市小学校一斉の土曜授業が行われました。たくさんの保護者の方、地域の方に参観していただきました。ありがとうございました。子供たちは、いつも以上に笑顔で、自分の力を発揮し、4月から12月までの成長と成果を見せることができたのではないかと思います。子供たちは、なかなか自分の成長には気付かないものです。これをチャンスにたくさんよかったところ、頑張っていたところを伝えてあげてください。「〇〇さんのお家の人もほめてたよ。」という伝え方も効果があるようです。ほめられることが恥ずかしかったり、苦手だったりする高学年のお子さんには、ぶつぶつとつぶやく、独り言作戦がよいかと思います。発達段階に応じたコミュニケーションのきっかけにしていだけたら幸いです。



## プログラミング教室 3年生（かしこく）

3年生の総合的な学習の時間に、毎年続いている宇都宮大学3年生によるプログラミング教室がスタートしました。5日間行われ、合計10時間の授業を予定しています。年々レベルアップし、本年度のテーマは「プログラミングで絵文字の感情を見分けよう！」です。子供たちは積極的に活動に参加し、恐れずにタブレットを操作しています。AIの発展とともに時代は大きく変わろうとしています。子供のころから、正しい知識を学び、身に付け、倫理観を育てることが重要になってくるのではないのでしょうか。自分で考えることの楽しさ、大切さを忘れず、上手にコンピューターと共存していけるよう、学びを広げていきたいと思います。



## 幼保小連携 1年生（やさしく）

「小1プロブレム」という言葉をおききになったことはありませんか？新しい環境への不適應による教師の話を聞かない、指示に従えない、落ち着きがないなどの行動が続くような授業規律の困難などのことを指す言葉です。精神的な不安から起こることが多いとされていることから、園と学校の環境変化を緩やかにし、少しでも不安を取り除き入学できるようにするための試みの1つとして、1年生が生活科「ともだちいっぱい」の中で、保育園児との交流会「なかよしかい」を行いました。2つの保育園から54名の園児を招待し、「さんぽ」を歌ったり、絵カードづくりをしたりして、2時間程度一緒に活動をしました。1年生達も小さな子供たちの立場に立って、できることを考えながら活動することができ、学校教育目標「やさしく」を成長させることができました。

新一年生みなさん、安心して入学してきてください。4月10日（金）にみなさんの笑顔を待っています。



<ことばの窓> 「一人一天分」 鈴木 民二・寺田 一清 著

笑顔は万国共通の地球語です。

笑顔があれば相手が変わる。自分が変わる。運命が変わる。